



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2021年6月13日(日) 9:30~12:00(曇り|雨)

参加者 一般:2名

指導員:4名

## テーマ 「カワラ」と名のついた植物を探そう

今日のテーマは、「カワラ」と名のつく植物探しです。木曽川の河原では洪水対策で樹木の伐採が進められ、植生が変化しています。

黄色の花をつけたカワラサイコや、クリーム色の小さな花をつけたカワラマツバは、河原のあちこちで見られました。

昨年までカワラヨモギが生えていた辺りは、樹木の伐採に重機が入って地面を攪乱したためか、オオキンケイギクなど他の草が繁り、カワラヨモギを見つけることができませんでした。

堤防法面付近のカワラケツメイは、昨年、種子が熟す前に草刈が実施されたので、今年発芽するか心配していましたが、数株が伸びだしているのを確認して一安心です。

大野極楽寺公園の池の周囲は草刈りがされたばかりで、昨年まで見られたカワラナデシコを見つけることはできませんでした。138 タワーパークのモクバラの池の横には植栽されたカワラナデシコが花をつけていました。

「カワラ」と名のつく植物はこの観察会ではこれまで6種が記録されていますが、今回はカワラヨモギとカワラハハコが見つけれず、結局、確認できたのは4種でした。

河原や公園では、草刈りなどが年に何回か行われていて、生えていた外来種が消滅したり、思わぬ植物が出現したりと、植生の変化が楽しめます。河原の植物のモニタリングを続けたいものです。

虫はというと、この日は天気が今一つだったせいか、トンボが少なかったことが気になります。それでも、アカメガシワの花に来ていたヒロオビトンボエダシャクやクリイロコガネなどを見ることができました。

来月はセミなどが出現し、昆虫もにぎやかになっていることでしょう。(報告:齋竹)



(ハンゲショウの花を観察)

### <その他観察できたもの>

花: タイサンボク、キンシバイ、ヒナギキョウ、ヒナキキョウソウ、キキョウ、コマツヨイグサ、マツヨイグサ、コウゾリナ、ヒメフタナ、ヒメジョオン、ノアザミ、シロツメクサ、クスタマツメクサ、コメツブツメクサ、ナヨクサフジ、セイヨウミヤコグサ、ドクダミ、ハンゲショウ、オッタチカタバミ、ヘラオオバコ、オオバコ、イヌコモチナデシコ、マンテマ、ヒサウチソウ、アレチハナガサ、アカメガシワ、モクゲンジ

鳥: シジウカラ、メジロ、スズメ、ムクドリ、ツバメ、アオサギ、トビ、チョウゲンボウ、キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、カワセミ、ウグイス(声)、オオヨシキリ(声)、ヒバリ(声)、キビタキ

虫: モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン、サトキマダラヒカゲ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ムラサキシジミ、シオカラトンボ、セイヨウミツバチ、オオスズメバチ



カワラサイコの花



カワラマツバの花



カワラナデシコの花



クリイロコガネ